広　告

広島大学

広島大学長
# 越智 光夫

**広島大学長 越智 光夫（おち みつお）**

1952年愛媛県生まれ。77年広島大学医学部卒業。95年島根医科大学教授。2002年広島大学大学院教授。広島大学病院長を経て、15年広島大学長に就任。膝関節、スポーツ医学を専門とする整形外科医。15年紫綬褒章を受章。19～21年文部科学省科学技術・学術審議会 総合政策特別委員会委員、17～22年日本学術会議会員、11～17年および22年から同連携会員、21～23年文部科学省科学技術・学術審議会委員、同中央教育審議会委員、25年国立大学協会副会長。

神戸大学長
# 藤澤 正人

神戸大学

**神戸大学長 藤澤 正人（ふじさわ まさと）**

1960年兵庫県生まれ。84年神戸大学医学部卒業。2002年川崎医科大学教授。05年神戸大学大学院医学系研究科教授就任。14年神戸大学病院長、19年医学研究科長を経て、21年神戸大学長に就任。腎泌尿器科学を専門とする外科医。15～19年日本泌尿器科学会理事長。国産初の手術支援ロボット「hinotori™」の開発に携わる。21年から大学基準協会評議員、23～25年国立大学協会副会長。24年日本泌尿器科学会医療賞、24年兵庫県科学賞、25年文部科学大臣表彰科学技術賞（開発部門）を受賞。

**J-PEAKS**

**文部科学省の「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」に採択された広島大学と神戸大学は、それぞれの強みを生かし連携して事業を推進していきます。**

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」は、日本全体の研究力を向上させ、新たな価値創造を促進していくために、大学ファンドによる国際卓越研究大学への支援と並行して行う事業です。

**広島大学**

**世界的に希少な紫外線（UV）領域の放射光による物質の可視化技術を通じて、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に研究を促進。広島および瀬戸内地域などの環境や資源を生かし、グローバルとローカルの両視点から、地球規模の課題解決、社会変革につながるイノベーションの創出や、地域産業の生産性向上および新規雇用創出を目指します。さらに、内外の課題解決をけん引していく、国際展開型の地方創生モデルを構築していきます。**

**神戸大学**

**デジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク（DBLR）に位置する「バイオものづくり共創研究拠点」を中心に、国際研究機関と連携した異分野共創研究で世界に伍する「Engineering Biology」を展開。研究のDX・自動化、次世代を見据えた研究環境を構築し、医療、エネルギー、化学分野におけるグローバル・イノベーション創出機能を強化して、地域の中核として、神戸医療産業都市におけるグローバル・バイオ・メディカルクラスターを確立し、DBLRを発展させ、地域産業の活性化を実現します。**

# 歴史と信頼を礎に、共創で世界を変える

**越智**：広島大学の起源は1874年にさかのぼります。被爆という苦難を乗り越え「平和を希求する精神」を理念の第一に掲げて復興し、地域の中核的研究大学としての使命を担ってきました。現在は約1万5千人の学生が学ぶ国際性豊かな総合研究大学です。

**藤澤**：神戸大学は1902年の設立以来「学理と実際の調和」、つまり現代の「社会実装」を理念としてきました。「真摯・自由・協同」の学風のもと、神戸の地で研究教育を拡大し、現在は約1万6千人の学生が在籍しています。J-PEAKS事業では、社会のニーズを起点とする「バックキャスト型」の研究開発を推進しています。

**越智**：私たちは共に外科医出身です。私の専門は整形外科で、膝関節の再生医療研究に長年取り組み、世界初の「3次元培養軟骨移植」などに携わりました。

**藤澤**：私は泌尿器科医としてがんの外科治療を専門とし、その中で産学連携による国産手術支援ロボット「hinotori™」の開発にも関わりました。この経験が今の大学運営にも生きています。越智先生とは10年来の知己です。日々決断を迫られる外科医だからこそ「やると決めたら、ぶれずに実行する」という価値観を共有できる。この信頼関係が連携の基盤です。

**越智**：リーダー間の信頼がなければ大きなプロジェクトは動きません。今回のJ-PEAKSで、国立大学同士が互いを正式な連携大学として資金を出し合う水平連携は、われわれが初めてのケースです。共にメスを握ってきた者同士の共通認識が、この前例のない連携を可能にしたのです。

## 異分野の強みを掛け合わせる「共創」の最前線

**越智**：連携の柱の一つが、本学の次世代半導体研究と神戸大学の膜技術の融合です。半導体製造に不可欠な純水の再利用という課題に対し、神戸大学が世界をリードする革新的な「膜技術」で応えようとしています。

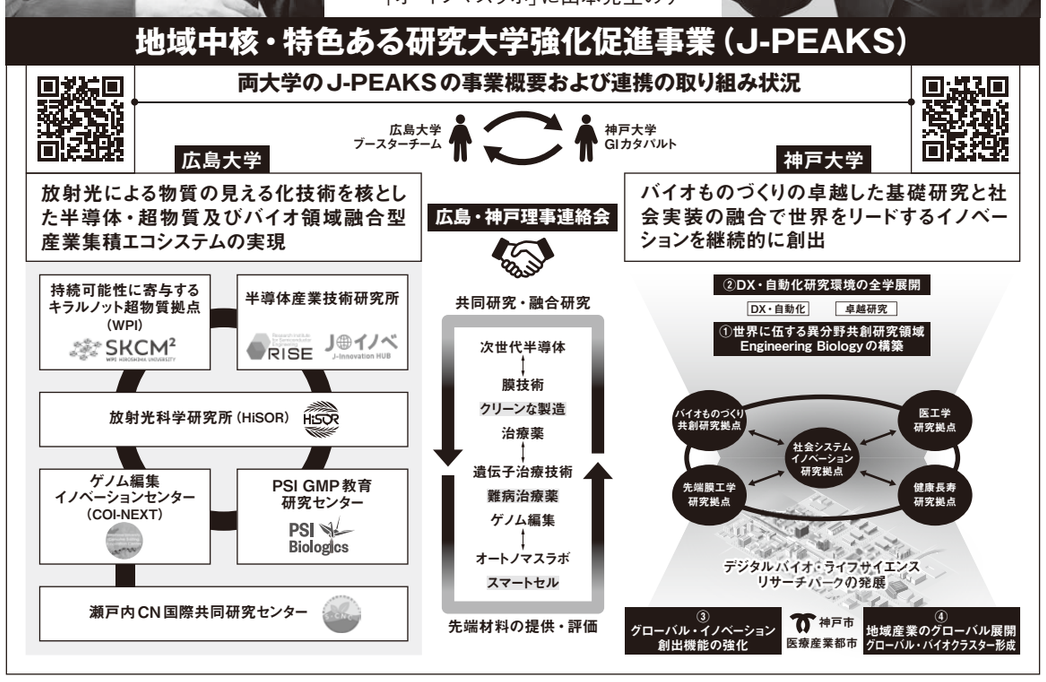
**藤澤**：私たちの高性能な膜を使えば、工場の廃水を効率的に浄化し再利用できます。広島大学の半導体コンソーシアムは、われわれの技術の絶好の実証の場となります。

**越智**：もう一つの大きな柱が創薬です。本学が進める難病治療薬の研究に、神戸大学が持つ画期的な遺伝子治療技術「エクソンスキッピング法」を組み合わせ、核酸医薬の開発を加速させます。この共同プロジェクトは日本医療研究開発機構（AMED）の大型研究事業にも採択されました。学内にはGMP準拠の製造施設も立ち上げ、将来の創薬プラットホームとしての役割を目指します。

**藤澤**：バイオ分野での連携も強力に進めます。私たちのJ-PEAKSの中核は、微生物の遺伝子を編集し有用物質を生産する「スマートセル」開発です。そのためにAIとロボットが実験を自律的に繰り返す「オートノマスラボ」という最先端の基盤を構築しています。

**越智**：本学にはゲノム編集技術の世界的権威である山本卓教授がいます。彼の編集技術を用いて本学の堀内浩幸教授が「アレルゲンフリー卵」を開発しました。このような技術は、神戸大学の「バイオものづくり」で絶大な力を発揮するはずです。

**藤澤**：まさにその通りです。私たちの「オートノマスラボ」に山本先生のゲノム編集技術を組み込めば、研究開発は飛躍的に加速します。この連携は世界レベルのインパクトを持つと確信しています。




**越智**：先月（8月）には、AMEDの2025年度「医学系研究支援プログラム（特色型）」に広島大学、神戸大学、熊本大学の3校の提案が採択されました。両学の連携強化に一層つながる吉報となりました。

## 大学連携が開く日本の未来と地域創生への展望

**藤澤**：研究の推進には、研究者を支えるURA（ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター）のような支援人材が不可欠です。この連携を機に両大学のURAの交流を深め、大学全体の研究マネジメント力を強化したいと考えています。優れた研究者と優秀な支援人材がそろって初めて、世界と戦える環境が生まれます。

**越智**：日本の研究力は、人口当たりトップ10%論文数などで韓国に抜かれるなど、厳しい状況ですが、私は悲観していません。異なる強みを持つ大学が本気で手を組むことで、新しい研究分野が生まれ、それが日本の研究力を押し上げる原動力になると信じています。こうした魅力的な研究テーマを提示することが、次代の研究者を育てることにもつながります。

**藤澤**：この連携は、1+1を2で終わらせるつもりはありません。3にも4にもなる「共創（Co-creation）」を目指します。両大学の強みで新たな研究領域と人材を育成し、その成果を広島と神戸、両地域の産業創出と活性化につなげたい。そのための基盤を、このJ-PEAKSを通じて盤石なものにしたいと考えています。

**越智**：J-PEAKSの重要な目的は「地域の活性化」です。例えば韓国では、大企業が大学に学部や学科を設置し、大学と共に人材を育成する仕組みが根付いています。日本でも大学の中に入り込み、共に教育カリキュラムを作るような、真の産学連携へと進化させるべきです。今回の連携はその試金石でもあります。地理的な近さを生かし、両大学の力を掛け合わせて全く新しい価値を創造する。その実現に全力を尽くす所存です。

# 両学の共創を私たちも応援しています。


## 半導体産業のさらなる成長へ貢献！

**「高度人材育成」と「先端技術開発」に取り組んでいます。**

Setouchi SemiConductor Consortium
せとうち半導体コンソーシアム

幅広い分野から参画・共創

●正会員／全37団体（企業32社、50音順）
アズビル、アドテックプラズマテクノロジー、エドワーズ、オルガノ、北川鉄工所、キヤノンアネルバ、京セラ、SUMCO、芝浦メカトロニクス、ステラケミファ、住友商事マシネックス、住友電気工業、ダイフク、タツモ、デロイトトーマツ、東京エレクトロン、東京応化工業、日本ゼオン、日本電子材料、野村マイクロ・サイエンス、日立製作所、日立ハイテク、日立プラントサービス、フェニテックセミコンダクター、フジキン、フジミインコーポレーテッド、堀場エステック、マイクロンメモリ・ジャパン、マルホ、三菱ケミカル、UBE、ローツェ
（大学）広島大学、神戸大学（研究機関）産業技術総合研究所（自治体）広島県、東広島市 ●賛助会員／フジアルテ
●特別会員／経済産業省中国経済産業局

せとうち半導体コンソーシアム▶
https://www.ss-consortium.com/
◀広島大学半導体産業技術研究所（事務局）

村上農園は、広島大学と共に
## 発芽野菜「スプラウト」で健康をサポートします。

広島大学と開発
マルチビタミンB12かいわれ

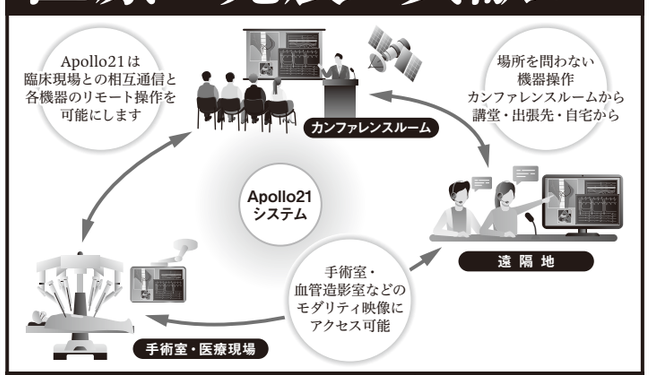
広島大学病院小児病棟・ファミリーハウスをサポート

**発芽野菜の国内シェアNo.1**※　※KSP-POSを基に自社集計（2024年）

村上農園

北海道から沖縄まで全国13ヵ所の生産施設より毎日新鮮な野菜を出荷しています。

SkyJet Medical
## 最新技術で医療の発展に貢献する




**株式会社スカイジェット・メディカル**
〒650-0023 兵庫県神戸市中央区栄町通1-2-10 読売神戸5F
TEL 078-381-5670　FAX 078-381-5930　https://www.skyjet.jp/

## 先端医療を神戸から世界へ

神戸大学 医工連携事業の支援
医療機器、介護機器の開発支援
終末期医療の人材育成等
主な事業

介護機器開発支援例　床ずれ対策クッションNEO X

**公益財団法人 神戸国際医療交流財団**
〒650-0047 神戸市中央区港島南町1丁目6番地4 IMPビル
TEL 078-806-0261　FAX 078-806-0262